



財団法人栃木県国際交流協会
Tochigi International Association

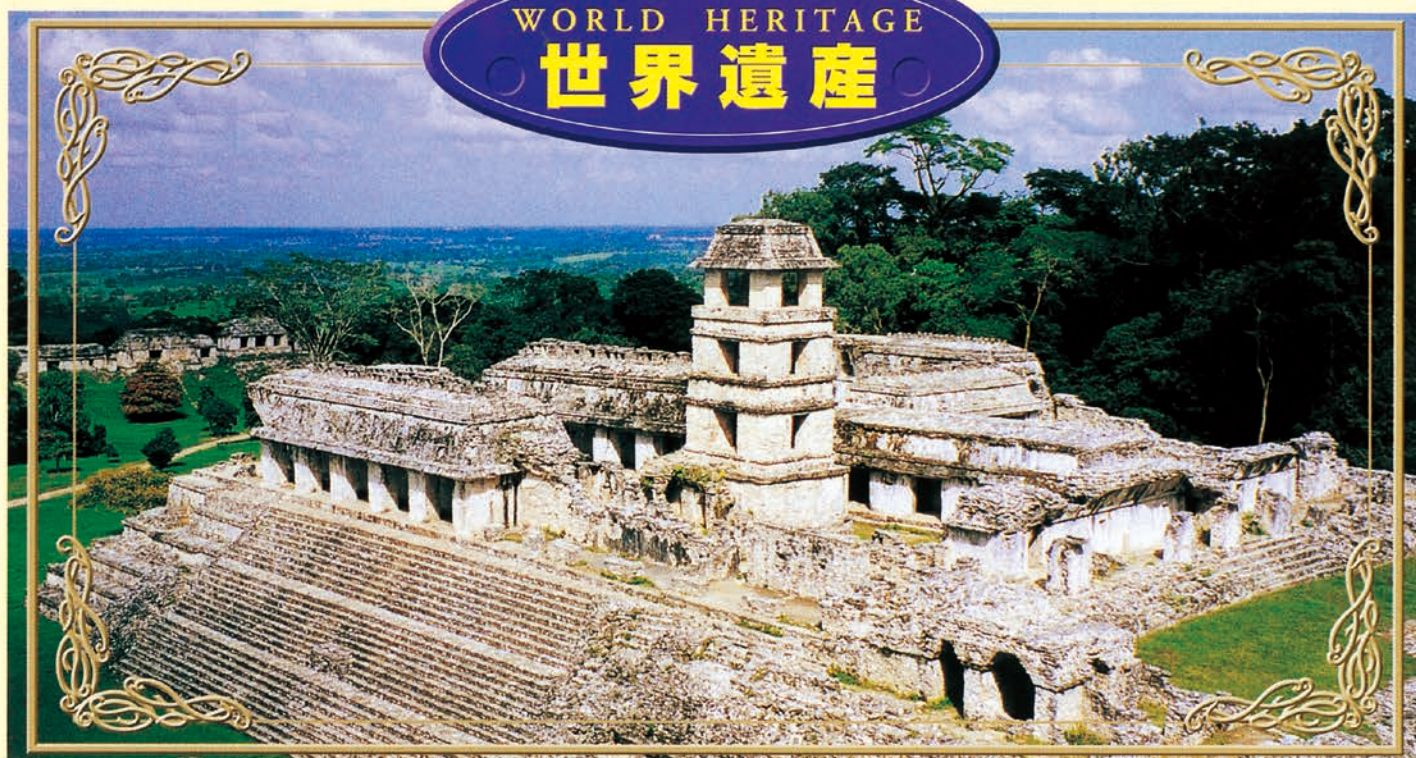
TIAニュース

やあ!

1999
SEPTEMBER
No.63

9

WORLD HERITAGE
世界遺産



▲メキシコ合衆国南東部のジャングルにそびえたつ古代都市パレンケの遺跡。中心に位置する建築物は「宮殿」と呼ばれ、マヤ建築でも他に例をみない複雑な形と塔を持つ。「宮殿」の建物群はアーケードや地下通路でつながり、内部は上下水道設備が備わっている。また、「宮殿」の南西部にある塔の壁面は東西南北に面しており、天体観測塔として使用されていたと思われる。(提供：斎藤美知代さん)

特集

栃木県・インディアナ州 姉妹提携

TIA
Information

●とちぎインターナショナル
フェスティバル '99開催

TIAホームページ

URL <http://www.pto.co.jp/tia/>

◆JETコーナー ラリー・フライさん(カナダ出身)

◆ようこそとちぎへ ▶栃木県国際交流員
▶自治体職員協力交流研修員

◆トピックス ▶フランス・ヴォークリューズ県から
ホストファミリーが来県
▶栃木県の友好交流員 浙江省へ出発
▶なるほど ザ・ワールドボックス開催
▶高校生のための研修会をりんどう湖で開催

◆あんな店こんな店 インド料理 RAJ MONY

JETコーナー

外国語指導助手
ラリー・フライさん
(カナダ出身)

私はラリー・フライ。ちょうど2年前に日本に来た高根沢町のJETです。栃木県に新しく来たJETは買い物にも苦労しているのではないのでしょうか。手で数えられるくらいの言葉しか知らない新しい土地では、苦労や驚き、誤解などがしばしば生じます。そんな時でも笑顔でやっていきましょう。海をまたいだ対岸でのちょっとした話を2つしたいと思います。



4月のめずらしく晴れた日の朝、車にガソリンを入れて近所の日石ガソリンスタンドに寄った時のこと、いつものことではありますが、ただガソリンを入れるだけなのに、大勢のスタッフが出迎えてくれました。車を寄せた時には、他国を征服して凱旋帰国し、歓迎を受けるアレキサンダー大王の気分が味わえました。ガソリンを満タンにしたあと、そのスタンドで働いている若者が笑顔で近づいてきて、「(オ) ゲンキデスカ」と言ったので、私はいつもの調子で

「ハイ、ゲンキデスヨ」と答えました。すると彼は驚いたような顔で同じ質問を繰り返し、今度は手を差し伸べて来ました。私は出された手を握り、握手をし、元気であると言いました。この挨拶は、延々繰り返されました。そこに店長が来て「キャッシュデスカ?」という質問をしてくれるまで。私が「ゲンキ」だと思っていた単語は、実は「ゲンキン(キャッシュ)」だったのだということを後に学校で学びました。

次に、私の日本人の友人がカナダに行った時の話をします。成田からモントリオールまでの17時間という長いフライトの間、スチュワーデスがする質問「チキンとビーフ、どちらがいいですか」に対し、友人は頭の中で「チキンを下さい」という英語のフレーズを繰り返し練習していました。モントリオールに着き、タクシーでホテルに向かった時のこと、彼女の口から出た言葉は「チキンを下さい」でした。

日本滞在はとても良い経験です。3年目に入るJETとしての今後の活動も楽しみです。これから私の身におこるであろう変わった経験をするのもまた楽しみなのです。

My name is Larry Fry and I am a JET in Takanezawa-machi. I arrived in Japan just over two years ago. I imagine that there are a lot of new JETs in Tochigi who are wondering about just what is in store for them. Being new in a country where you cannot understand any more words than you have fingers can be trying, amusing and full of misunderstandings. When this inevitably happens to you,

just laugh and carry on. I would like to relate two short stories from opposite sides of the sea. One rear sunny morning, in April I sleepily pulled up at my local Nisseki gas station to fill up my sturdy steed. As usual the entire staff of 10 busy bodies was needed to remove a single gas cap and insert a long hose. I was greeted with such cheer as I pulled up that I thought I was Alexander the great returning from my latest conquest. Once the tank was full, a smiling young man approached me and said "O genkin desu ka". I gave the usual reply. "Hai, genki desu yo". The pump boy looked startled and repeated his greeting, this time sticking out his hand which I naturally grabbed and shook. I again repeated that I was fine. This continued until the head clerk came out and quite brusquely said "Cashu desu ka". It wasn't till I got to school that I learned that "genkin (cash)" and not genki was what I had been asked about.

Another story involved a Japanese friend of mine on a trip to Canada. During the 17 hour long flight from Narita to Montreal this friend was asked countless time: "Would you like chicken or beef?" My friend would hear the stewardesses working their way down the aisle and she would practice her answer. "Yes, I would like chicken." She would repeat her answer over and over in her head.

She finally arrived in Montreal, took a cab to her hotel and approached in much practiced and a little bewildered voice: "Yes, I would like chicken."

Living in Japan has been a great experience so far and I am looking forward to my third year as a JET and to whatever strange thing I know will happen to me tomorrow.

語学検定試験案内

●国連英語検定試験(秋試験)

▶試験日=第1次試験:平成11年11月7日(日)、第2次試験:平成12年1月16日(日)(特A・A・B級のみ)▶受験会場=とちぎ国際交流センター(ただし特A級合格者の2次試験受験地は東京になります)▶検定料=特A級7,300円/A級5,100円/B級4,000円/C級2,800円/D級1,600円/E級1,300円(いずれも消費税込み)▶申し込み方法=申込用紙(郵便振替用紙)の申込欄に所定の事項を書き込み、郵便局で検定料を振り込む。用紙はTIA及び書店等で配付。▶申し込み期限=平成11年10月6日まで(平成11年10月7日消印有効)▶応募の問い合わせ・申込書送付先=講談社国連英検事務局 〒112-8001東京都文京区音羽2-12-21

TEL03-3947-1320 FAX03-3942-8094

※試験実施に関する問い合わせは日本国際連合協会英検係(TEL03-3270-4731)まで。

●中国語能力認定試験(漢語水平考試)

▶試験日=平成11年11月7日(日)▶受験会場=東京水産大学(金沢、札幌でも受験可)▶受験料=基礎4,190円/初中等8,190円▶申し込み方法=専用の郵便振替用紙に必要事項を記入し、受験料を振り込んだ上、所定の願書に必要事項を記入し、写真(タテ4cm×ヨコ3cm)とともに専用封筒で東日本事務局宛送付する。▶申し込み期間=平成11年8月1日~10月16日(当日消印有効)▶問い合わせ・申込書送付先=HSK(漢語水平考試)日本実施委員会東日本事務局試験手続センター 〒560-0021大阪府豊中市本町5-1-1 教育センタービル2階(社)日本青少年育成協会内 TEL06-6857-3397 FAX06-6842-0631

●ハングル能力検定試験(秋季第13回)

▶試験日=第1次試験:平成11年11月7日(日)、第2次試験:平成11年12月5日(日)(1、2級の第1次試験合格者のみ)▶受験地=東京ほか▶検定料=1級10,000円/2級8,000円/準2級6,000円/3級5,000円/4級4,000円/5級3,000円▶申し込み方法=①手数料(切手400円分)を同封してハングル能力検定協会あてに願書請求する。返送される願書付きの受験案内に必要事項を記入して郵送。②ハングル検定取り扱い書店で申し込む(詳細は書店で)。③ハングル能力検定協会事務局に直接申し込む。▶申し込み期限=平成11年10月15日まで(当日消印有効)。ただし、書店での申し込み締め切りは10月13日。▶申込書送付先=「ハングル」能力検定協会 〒106-0041東京都港区麻布台1-11-5 6階 TEL03-3568-7270 FAX 03-3568-7271▶その他=10名以上で受験するグループには検定料割引制度あり。

TOPICS

フランス・ヴォークリューズ県から ホストファミリーが来県

栃木県と友好交流をしている南仏・ヴォークリューズ県の「プロヴァンス・ジャポン協会」の会員6名(3組のご夫婦)が、8月17日から26日までの日程で来県した。同協会は、栃木県が派遣している海外研修団員のホームステイを10年前から引き受けている。栃木県では6年前から同協会の会員

▶日光視察(華厳の滝)



を招待し、本県や日本の文化を知る機会を提供している。一行は、知事表敬、県内視察の後、元海外研修団員のお宅にホームステイし、友情を深めた。また、とちぎ・プロヴァンス協会主催による

意見交換会や交流会、栃木県ベタंक協会の協力により開催されたベタंक日仏交流会などに参加し、県民との交流を深めるとともに、今市市の如来寺での琴やお茶などの日本文化体験も行った。

栃木県の友好交流員 浙江省へ出発

平成6年度から栃木県が毎年派遣している「浙江省友好交流員」が決定した。今年度は薄根尚子(うすねなおこ)さん、芳士戸美香(ほうしとみか)さん、高橋京子さんの3名。芳士戸さんは河北省に、高橋さんは黒竜江省に留学経験があり、薄根さんは観光での中国渡航経験が数回あるが、3名とも浙江省に行くのははじめてという。

9月上旬に日本を発った3名は、来年の2月までの6か月間、寮生活を送りながら、浙江大学の国際教育学院で中国語をメインに研修を受ける。

▶写真左から高橋さん、薄根さん、芳士戸さん



なるほど ザ・ワールド ボックス開催

国際理解ワークショップ「なるほどザ・ワールドボックス」が矢板公民館で8月22日に開催された(主催:栃木県青年海外協力隊OB会)。

当日は、東南アジアの衣食住に関する道具を見て用途や使用法を考えたり、グループに分かれて同じ設定で劇を演じるなどの活動を通じ、海外への理解を深めた。



道具の用途を考える

高校生のための研修会を りんどう湖で開催

去る7月16日、那須町のりんどう湖ファミリー牧場で、第23回国際交流研修会が開催された(主催:栃木県高等学校国際教育研究協議会)。

当日は、県内の高校生やALT、留学生などが多数参加し、グループワークやウォークラリーなどゲーム感覚で楽しみながらの研修を行った。

▶積極的な参加者たち



▶多くの高校生が参加

こんな店 あんな店

インド料理ナンカレー専門店 RAJ MONY (宇都宮市ユニオン通り)

▶この看板が目印



8月1日にオープンしたばかりのインド料理店「RAJ MONY (ラズ モニ)」。南インドの言葉で「宝物」を意味する店名は、レストラン経営が夢だったというサハダット店長の思い入れをうかがわせる。店内は、インド音楽がBGMとして流れ、インドの絵のディスプレイやビデオ上映などもあり、インドの雰囲気をかもし出している。

コックさんは南インド出身で、東京など日本のインド料理店でも16年の経験を持つというベテラン。注文時に希望を言えば、極辛からお子様用まで「日本人向けに辛さ

▼30センチ以上あるナン(中央)をはじめ「お勧め料理はいろいろです」



をアレンジすることも可能」という。

ユニオン通りという場所柄が「比較的小さいお客様が多い(サハダット店長)」とのことで、メニューが豊富でしかも抑えた料金になっており、学生のお客が入りやすいというのもうなずける。

ランチメニューは、カレー(5種類の中からひとつ選べる)にナン&ライス&サラダ&飲み物がつく750円セットから、カレーが2種類選べてシッカパブ&ティンギリカパブがつく1,200円セットまで3種類ある。更に学生には嬉しい「学割」があり、

▶スタッフのコスチュームもインド風

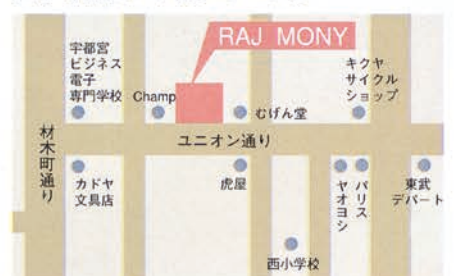


750円セットが680円で食べられる。また、ボリューム感のあ

る本格的なディナーメニューも自慢で、インド料理野菜特選セット(野菜カレー3種類、ヨーグルト、ナン、ライス、サラダ、ミルクティー又はコーヒー)1,500円をはじめ、種類が多い。料理はもちろんのこと、アフターの紅茶もアッサムのミルクティーにするなど、こだわりのインド料理が楽しめるお店だ。



▶営業時間=ランチ 11:30~15:30、ディナー 16:30~22:30 (ラストオーダー 22:00)
▶定休日=無休▶住所・電話=宇都宮市伝馬町3-24 TEL028-610-6009▶アクセス=東武宇都宮駅より徒歩3~5分



栃木県・インディアナ州姉妹提携

平成11年7月16日（金）、アメリカ・インディアナ州と栃木県との「姉妹提携に関する協定書」の調印式が、渡辺文雄知事とフランク・オバノン知事により、インディアナポリス市内の州知事公邸で行われた。この式の前後の期間、日光東照宮の雅楽・舞楽や日本舞踊、伝統工芸のスペシャリスト達で構成された「とちぎ文化工芸団」や、経済・農業団体の代表者で構成された「産業交流調査団」もアメリカに派遣され、両県の民間レベルでの交流に役買った。



◀調印式の様子

▼この様子は地元テレビの夕方のトップニュースとして報道された。



▼姉妹提携祝賀会



◀初日、州政府でインディアナの商業、農業の概要を聞く。

産業交流 調査団



記念グッズ

姉妹提携を記念してつくられたグッズの数々（非売品）



◀アンダーソン市の経済界要人との懇談会中央はアンダーソン市長夫妻

▼世界各国に進出している製薬会社（イーライリリ社）で企業の説明を聞く。



▲農業者連合会で州内の農業の現状と会の役割についての説明を受ける（下は農業者連合会オリジナルグッズ）。



体験型ミュージアムの子供博物館内は親子連れで大賑わい



▶産業交流調査団藤井団長（右から2番目）・野中副団長（中央）とインディアナ州政府の産業交流調査団受入担当者





舞楽「蘭陵王」(日光東照宮)



▼インディアナポリス市の会場となったマリアン大学



▼雅楽「越天楽」(日光東照宮)



とちぎ文化工芸団

とちぎ文化工芸団の一行は、インディアナポリスを皮切りに、ブルーミントン、エバンズビルのインディアナ州内3市の大学において公演や実演を行った。



▲日本舞踊「島の千歳」(西川扇祥団長)



▲日本舞踊「舌出し三番叟」(西川東扇さん)



▲七福神(坂東右朗さん)



▲日本舞踊「晒女」(若柳渚宝さん)

▼場内に設けられた栃木県の紹介コーナー



▲伝統工芸実演 烏山和紙(福田弘平さん)



▲伝統工芸実演 竹工芸(八木澤正さん)



▲「日本祭り」パンフレット



▲伝統工芸実演 武者絵(大畑耕雲さん)

来場者参加コーナーでは熱心に質問をしながら作品づくりに取り組む姿が見られた。



ようこそとちぎへ

welcome to Tochigi

栃木県国際交流員

マイケル・ボーン・ラガウスキーさん
(写真左・アメリカ出身)
イザベル・パロンさん
(写真右・フランス出身)



JETプログラムで7月末に来県し、栃木県国際交流課で勤務を始めた国際交流員(CIR)のお2人にインタビュー。

* * *

——ご出身はどちらですか。
マイケル(以下、マイク) 私が生まれたのは、イリノイ州ですが、小学生の時にインディアナ州に引っ越して現在に至ります。今回、姉妹州(県)となった栃木県で仕事ができることになり、嬉しく思っています。

イザベル 私はでバリ生まれ、ボルドー、トゥールーズなどに住んでいました。

——お2人が日本語を学んだきっかけについて教えてください。

マイク 大学で東アジアの文学と言語を学ぶにあたり、アジアの言語を何かひとつとらなければならなかったんです。専攻が経済で、日本経済にも興味があったため、日本語をとることにしました。

イザベル 私は父が航空関係の仕事をしていたため、中学時代の3年間をアメリカのワシントン州で過ごしたんです。通っていた中学校の友人が日本人ばかりだったことで、日本語に接するようになり、フランスの高校に戻ってからは、通信教育で日本語の勉強を続けました。大学の専攻も日本語です。

——お2人とも、以前、日本にいらしたことがあるそうですね。

マイク 96年から97年にかけての1年間、名古屋の南山大学に留学しました。留学時代に勉強していたのは、日本語と経済です。日本語の勉強は、漢字は問題ないものの、文法がつかかった。教科書で学ぶ書き言葉と話し言葉が違うんですね、日本語って。
イザベル 私は高校卒業時に友人と4人で日本に来たのが最初です。その後、大学に入学してからも夏休休暇などを利用して日本に来ていました。今年の3月にも日本に来たんです。梅は咲いたが、桜はまだの時期に帰国しなければならず、残念でした。

——栃木県に来たことはありましたか。

マイク&イザベル 今回が初めてです。

——お2人の趣味を教えてください。

マイク 体を動かすことが好きなんです。野球やビーチバレーをやったり、マウンテンバイクに乗ったり。

イザベル 私はバレエです。6歳から14年間習い、主に創作バレエなどを踊っていました。有名な「白鳥の湖」や「ジゼル」などはレベルが高くないと踊らせてもらえないんです。でも、昨年「くるみ割り人形」に出演したんですよ。あと、テレビを見るのも好きで、日本の番組では「さんまのからくりテレビ」がお気に入りです。明石家さんまさん大好きです。

——日本にいる間にしておきたいことはありますか。

マイク 夏場が過ぎて涼しくなったら剣道をやってみたいです。実は、南山大学留学中に4か月くらい剣道部にいたんです。試合にも出たことがあるんですよ。しかも1回戦は勝ったんです！ 相手が来なかったの(つまり不戦勝ですね)。2回戦ではすぐ負けましたけど。

イザベル 書道を習ってみたいです。仕事も頑張りたいです。交流員としての仕事の内容の中に「講演会」というのがあって、いまからちょっと不安ではあるんですけど。

マイク 翻訳や通訳の仕事ももちろんですが、姉妹県交流の仕事も頑張りたいです。

平成11年度 自治体職員協力交流研修員

5月30日に入国し日本語教育を受けていた自治体職員協力交流研修員が、7月1日に栃木県に来県した。3月までの8か月間、行政分野における研修を行う。

①氏名②年齢・性別③出身地
④研修科目⑤研修機関(敬称略)

中華人民共和国



①余徳松 ②38・男
③浙江省東陽市 ④
林業分野の地方自治体のノウハウ ⑤栃木県林業センター

T I A 日誌

1999年7月1日～1999年8月31日

- 7/1 浙江財経学院教授理事長表敬
- 7/2 自治体職員協力交流研修員理事長表敬
インディアナ州派遣文化工芸団結団式(センター)
- 7/3 海外技術研修員歓迎会(宇都宮市・ニューみくら)
- 7/4 国連英検1次試験(センター)
- 7/5 海外技術研修員宿舍入居
- 7/6 インディアナ州訪問産業交流調査団結団式(センター)
海外技術研修員健康診断
- 7/7 海外技術研修員研修機関配属(日本語研修1か月コースの者)
- 7/14 インディアナ州訪問産業交流調査団派遣(～20日)
- 7/15 インディアナ州派遣文化工芸団派遣(～22日)

- 7/24 とちぎインターナショナルフェスティバル第1回運営委員会(センター)
- 8/4 海外技術研修員研修機関配属(日本語研修2か月コースの者)
- 8/7 浙江省国際友好都市交歓会県民訪中団事前説明会(センター)
海外技術研修員富士登山参加
県費留学生宮まつり参加
- 8/10 栃木県日仏青少年短期研修事業第1回実施委員会(センター)
- 8/15 国連英検2次試験(センター)
- 8/17 ヴォークリューズ県ホストファミリー受入(～26日)
インディアナ州派遣文化工芸団慰労会(県公館)
- 8/21 海外技術研修員、国際交流ウィークエンドイン馬頭に参加(～22日)
- 8/24 浙江省友好交流員理事長表敬(センター)
- 8/28 とちぎインターナショナルフェスティバル第2回運営委員会(センター)

*センター：とちぎ国際交流センター

情報発信 地域の国際交流案内

★「国際シンポジウム in 宇都宮」

～わが街の『日本語教室』を考える～

▶開催日＝平成11年11月27日（土）～28日（日）▶会場＝コンセーレ（宇都宮市駒生1-1-6 ☎028-624-1417）▶対象者＝外国人に日本語を教えた経験のある方・教えてみたい方。外国人・市民。▶日程・内容＝第1日目①問題提起その1「'99日本語スピーチコンテスト・わたしと日本語」②交流パーティ（情報交流・交換）■第2日目①問題提起その2分科会討議「日本語教室」の運営・行政との関わり／内容・カリキュラム／ボランティア研修・養成／年少者への日本語教育②パネルディスカッション・問題提起を受けて（パネリスト：(出)日本語普及協会理事長 西尾圭子、国際都市仙台を支える市民の会会長 氏家洋子、(財)兵庫県国際交流協会日本語指導員 栗林裕子、横浜国立大学人間科学部講師 関口明子、金沢を世界へ開く市民の会事務局長 松田園子、いっくら国際文化交流会会長 長門芳子）▶参加費＝無料（交流パーティのみ2,000円）宿泊希望の場合は直接会場（コンセーレ）まで。▶問い合わせ・申し込み先＝いっくら国際文化交流会（長門TEL&FAX 028-625-0050）

★A F S 留学生のためのホストファミリー募集

国際理解教育促進のため、世界各国の高校生を対象とした交換留学プログラムを実施している(財)A F S 日本協会栃木支部が、

下記の内容でホストファミリー（留学生の受入家庭）を募集しています。

▶受入期間＝平成12年3月末から平成13年2月上旬までの約11か月間 ▶ホストファミリーにご負担いただくもの＝家族の一員として必要な諸経費（食費、光熱費等）▶留学生の出身国＝世界約27か国▶主な受入れ高校所在地＝宇都宮市、黒磯市、栃木市、小山市、氏家町など。▶資料請求・問い合わせ＝(財)A F S 日本協会栃木支部（支部長 船田千絵さん）〒321-0963宇都宮市南大通り2-6-2 TEL028-633-7764

★第3回国際協力大学生論文コンテスト

▶応募資格＝平成11年7月15日現在、大学学士課程もしくは修士課程に在籍中の。日本在住者であれば国籍は問わない。海外から応募する場合は、日本国籍を有する者のみ。年齢制限なし。▶テーマ＝自由。開発途上国の抱える課題克服に向けた国際協力の取り組みに関する。なお、人文・社会科学、自然科学などの領域は問わない。技術論に特化した内容も受け付ける。▶応募規定＝①和文12,000字以内（注釈、参考文献、図表含む）。ワープロ使用の場合はA4タテ、横書、1枚につき横40字×縦20行。手書きの場合はA4タテ、400字詰原稿用紙、横書き。なお、A4サイズ1枚に記された図表は400字とみなす。②A4サイズ用紙に要約として、論文のねらい、視点、論旨、内容、展開方法等を800字以内にまとめる。③論文名、分野、アプローチ手法、応募者氏名（ふりがな）、所属大学名（学部、学科、専攻まで）、学年、指導教官名、郵便番号、住所（日本の連絡先）、電話番号（ファックス・電子メールアドレス）、性別、生年月日、年齢（H11.7.15現在）、応募動機をA4サイズ用紙1枚にまとめる。▶募集期間＝平成11年7月15日～11月

30日（必着）▶賞＝特選4編（副賞：約2週間の海外研修旅行）、準特選6編（副賞：10日間の海外研修旅行）、入選10編（副賞：記念品）、応募者全員に参加賞として記念品。なお、副賞の研修旅行の出発地は日本とする。▶問い合わせ・応募先＝(財)日本国際協力センター広報部内JICA国際協力大学生論文コンテスト係 〒163-0489東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル内 私書箱300号 TEL03-5322-2541 ホームページhttp://www.jica.go.jp

★世界青年交流イベント

World Youth Forum 開催

▶日時＝平成11年10月16日（土）～17日（日）▶会場＝国立オリンピック記念青少年総合センター（小田急線参宮橋駅下車徒歩7分）▶対象＝各国留学生及び日本青年等▶募集人員＝200名▶参加費＝3,000円（食費・交歓パーティー・資料費など。宿泊費は無料）▶応募方法＝平成11年10月2日までに所定の参加申込書を郵送またはファックス送付して申し込む。募集人員になり次第締め切り。参加者には参加通知がある。▶問い合わせ・申し込み先＝国立オリンピック記念青少年総合センター研修協力課「World Youth Forum」係 TEL03-3467-7201 FAX03-3467-7736

★バングラデシュ中高生スタディーツアー

▶日程＝平成11年12月25日～平成12年1月4日（10泊11日）▶対象＝中学生、高校生等▶定員＝15名▶参加費＝200,000円（+臨時会費3,150円）▶問い合わせ・申し込み先＝東京YMCA国際奉仕センター 〒101-0053東京都千代田区神田美土代町7番地 TEL03-3293-7011 FAX03-3293-9474 ホームページ http://www.remus.dti.ne.jp/~kumanomi/bangladesh/

宇都宮 ↔ 成田空港

（直通高速バス マロニエ号）

空港ターミナル出発ロビーへ2時間50分！

	成田空港ゆき		宇都宮ゆき		
	宇都宮発	成田空港着	成田空港発	宇都宮着	
●運賃・片道	大人 4,070円	5:10	8:00	8:30	
	小人 2,040円	6:10	9:00	11:20	
	●15名様以上団体割引	8:30	11:20	14:40	17:30
		10:10	13:00	15:40	18:30
●お問合せ・ご予約は	12:00	14:50	17:00	19:50	
	14:00	16:50	18:10	21:00	
			19:40	22:30	

マロニエ予約センター または関東バス各営業所へ
☎(028)638-1730 関東バス

国産第1号機の実績と信用

情報マシンとシステム販売

栃木システム販売株式会社

代表取締役 大金 幸司

本社 〒321-0933 宇都宮市築瀬町1785
電話 (028) 637-1933(代) FAX (028) 634-4191

TIA Information Corner

★とちぎインターナショナルフェスティバル '99

「とちぎインターナショナルフェスティバル '99」を次のとおり開催します。

▶開催場所＝とちぎ国際交流センター

(宇都宮市本町9-14 栃木県総合文化センター西隣)

▶日時と内容

①1999年10月30日(土) 10:00～16:00

日本料理教室・ホームステイ講座等
(定員制/要事前申し込み)

②1999年10月31日(日) 10:00～16:00

各国の料理・民芸品等販売、外国の歌や踊り、健康相談等

▶問い合わせ・申し込み先

(財)栃木県国際交流協会 TEL028-621-0777

Data, horário e programação:

* 30 de outubro de 1999 (sábado), das 10:00 as 16:00 hs.

Aula de Culinária Japonesa, Curso de "Home-stay" etc. (vaga limitada)

* 31 de outubro de 1999 (domingo), das 10:00 as 16:00 hs.

Vendas de artigos artesanais e comidas típicas, apresentações musicais e de danças folclóricas, consultas médicas etc.

Informações: TIA pelo fone 028-621-0777

★Festival Internacional de Tochigi '99

Lugar: Centro Internacional de Tochigi

(al lado oeste de Sogo Bunka Center)

Fecha, horario y programas:

*30 de octubre de 1999 (sábado), de 10.00 a 16.00 hrs

Clase de cocina japonesa, curso de "Home-stay" etc. (Número limitado)

* 31 de octubre de 1999 (domingo), de 10.00 a 16.00 hrs

Venta de productos artesanos, comidas típicas, presentaciones de música y danza folklórica, consultas médicas etc.

Informaciones: Llamar a TIA (028-621-0777)

★99 栃木国際节

「栃木国際节」在下列日期举行。

★地点

栃木国際交流中心(县综合文化中心西侧)

★日期和内容

1999年10月30日 星期六 10:00～16:00

日本料理教室 寄家庭讲座等 (定员制)

1999年10月31日 星期日 10:00～16:00

展售各国的料理、民间工艺品、表演外国歌舞和健康咨询等

★咨询

T I A 电话 028-621-0777

★ جشنواره بین‌المللی توچیگی '۹۹

اجرای برنامه تشریح زیر می باشد.

محل: توچیگی کولتوری کوربو سنا (غرب کن سوگو بون کا سنا)
روز: ساعت و برنامه.

تاریخ شنبه ۳۰ آذر ۱۳۷۸ ساعت ۱۰ صبح تا ۴ بعد از ظهر.
برنامه: آموزش و درست کردن غذاهای ژاپنی - سفارش در مورد پاشیون های خانوادگی برای خارجیان.
تعداد نفرات: نامحدود محل.

تاریخ یکشنبه ۳۱ آذر ۱۳۷۸ ساعت ۱۰ صبح تا ۴ بعد از ظهر.
برنامه: آزمایش خوراک های کشورهای خارجی - فروش کالاهای صنایع دستی کشورهای مختلف - موسیقی - رقص و آواز کشورهای مختلف - ستاره پزشکی.

اشخاصی که اطلاعات بیشتری لازم داشته باشند می توانند با تلفن شماره ۰۷۷۷-۶۲۱-۰۲۸ تماس بگیرند.

★งานฉลองเทศกาลโทชิぎ 99

สถานที่: กรมศิลปากรโทชิぎ

(ตั้งอยู่ถนนสวนสาธารณะ โทชิโกะ มุสึค ฮอลล์)

วันเสาร์ ที่ 30 ตุลาคม 1999 เวลา 10.00-16.00 น.

วันอาทิตย์ ที่ 31 ตุลาคม 1999 เวลา 10.00-16.00 น.

กิจกรรมในวันเสาร์: ทำอาหารญี่ปุ่น เรียนรู้วิถีชีวิตคนญี่ปุ่น

ชมผลงานศิลปกรรม และอื่นๆ

(ไม่รวมค่าเข้าชมในวันเสาร์มีใบปลิวแจกฟรีที่ศูนย์วัฒนธรรมโทชิโกะ)

กิจกรรมในวันอาทิตย์: 31 ตุลาคม 1999 เวลา 10.00-16.00 น.

อาหารจากประเทศต่างๆ นิทรรศการศิลปะ

ดนตรี และการแสดงจากศิลปินต่างประเทศ

และนำผลิตภัณฑ์หัตถกรรมมาจัดแสดง

ติดต่อสอบถามรายละเอียดได้ที่: โทร. 028-621-0777

<新規賛助会員の方々>

個人: 平田真理枝様、ラジ・ワサン様

エジソン・ルフィーノ様

小林さえか様、南祥子様

～ご入会、ありがとうございます～

T I A 賛助会員募集中!

賛助会員になっていただきますと、T I A の機関紙、各種刊行物、催事情報等をお届けします。またテレビ方式変換ビデオ (海外→日本、日本→海外) をご利用できます。その他、会員証の提示により、指定店での割引等の特典もあります。年会費は個人3,000円、団体10,000円、法人30,000円です。

※賛助会費と出捐金の運用益は、T I A の様々な事業に使わせていただいております、地域の国際化のために役立っています。

※財団法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人 (寄附金の損金算入等の課税特別措置) の認定を受けています。当協会の事業にご賛同下さる企業、団体等からのご出捐をお願いいたします。

T I A ご案内図



編集・発行 財団法人栃木県国際交流協会
住所 〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
T E L 028-621-0777 (代表) 028-627-3399 (相談専用)
F A X 028-621-0951
業務時間 8:30～17:15
休館日/日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日